

静岡市のココが聞きたい

総括質問



平成29年6月28日、29日、30日の3日間、17名の議員が総括質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

海洋文化拠点施設

質問 国際海洋文化都市の実現に向けて、海洋文化拠点施設の基本構想が公表されたが、施設整備に向けたスケジュールをどのように考えているか。

答弁 2020年代前半のオープンを目指していく。

5大構想の一つである海洋文化拠点施設については、水族館・博物館が融合した駿河湾を生かした海洋・地球の総合的なミュージアムを目指すという基本構想をとりまとめ、公表した。今年度から、この基本構想をもとに基本計画の検討に着手し、設置場所、事業内容、資金計画などの具体化を図っていく。海洋文化拠点施設は、清水の発展に欠かせないものであり、今後も産学官民のオール静岡の体制のもと不退転の決意で取り組んでいく。

語句説明

5大構想

3次総の6つの重点プロジェクトのうち、市が有する「オンリーワンの資源」を最大限に活用し、みがきあげ、まちの価値創造力を高めていくため最優先に取り組む5つの施策群。

清水港の国際クルーズ拠点化

質問 清水港の国際クルーズ拠点化を市はどのように捉えているか。

答弁 国が策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」の2020年クルーズ旅客数500万人という目標に向けて、全国6港の国際クルーズ拠点港の一つに清水港が選ばれた。

クルーズ船寄港の増加は、地域の国際化等の促進や地域経済の活性化への効果が期待される。

これまで市で取り組んできた「清水都心ウォーターフロント」や「海洋文化拠点施設」に加え、清水港の国際クルーズ拠点化の方針が示されたことは、本市にとって絶好の機会である。

今後も関係者と連携し「国際海洋文化都市・清水」の実現を目指していく。



質問に答える田辺市長

サッカースタジアムの建設

質問 清水区、静岡市の経済活性化には、サッカーのまち静岡の取組が効果的だと考える。取組の一つにスタジアムの建設があるが、国はどのようなスタジアムを求めているか。

また、現在IAIスタジアム日本平が充足していないJリーグクラブライセンスの施設基準にいつまでに対応する予定か。

答弁 国はスタジアム・アリーナ改革指針において、収益を生まない「コストセンター」から、観るスポーツの舞台として収益をもたらす「プロフィットセンター」への転換や民間活力の導入、街なか立地等を提示している。

施設基準への対応は、静岡市スポーツ推進計画において整備方針を30年度までに決定するとしているが、国の指針を踏まえ、更に検討していく。

放課後児童クラブの支援員

質問 今年度実施した支援員の処遇改善の目的と内容は何か。また、今後、支援員の抜本的処遇改善をすべきではないか。

答弁 児童クラブの安定的な運営と必要な支援員の確保を目的として、処遇改善を行った。具体的には、委託料算定において、中心的な役割を担う主任支援員の人件費を現状の時間単価によるパート雇用から、月額単価による嘱託化にも対応できるよう見直しを行うとともに、すべての支援員について、一定の経験年数に応じた加算手当を導入した。

本市では、今後も児童クラブの整備拡充を精力的に進めるため、現場における支援員の確保状況や、国の補助事業等の動向を見極めながら、更なる処遇改善の要否について検討していきたいと考えている。

学校給食への異物混入

質問 市立小中学校給食において発生した異物混入にどのように対応したのか。

答弁 異物混入は24年度から28年度までの過去5年間で18件発生し、その主な内容は調理機器・調理器具等の部品や破片の混入である。

異物混入時には速やかに原因の究明と機器の一斉点検を行い、原因が機器類の部品の脱落等による場合は、ゆるみやゆがみを調整し、経年劣化等による場合は、直ちに使用を中止し、修理や新品への交換を行っている。さらに28年度は緊急点検を行い、各施設で劣化が進んでいた「ざる」と「すくい網」をすべて新品に交換した。29年度はこれまでの事案を踏まえ、調理器具を重点的に点検し、未然防止のための更新をしていく。

中小企業振興基本条例

質問 中小企業の振興を図るため、静岡県や他の政令指定都市でも定めている中小企業振興基本条例を制定すべきと考えるが、どのような検討を行っているか。

答弁 これまでに、全国の自治体の条例制定状況調査、静岡県や他の政令指定都市の条例や関連施策の内容の精査などを行ってきた。また、28年度からは静岡商工会議所や清水・由比・蒲原の各商工会、静岡県中小企業家同友会などの経済団体との勉強会や意見交換を行い、市内中小企業の実態把握に努めている。

中小企業の振興には、基本理念や行政・市民・事業者それぞれの役割の明確化が必要と認識しており、条例制定の必要性や有効性について引き続き検討していく。

清水庁舎の想定改修経費

質問 現清水庁舎を補強改修する場合、全体工事費の5割から6割に相当する約31億円と想定した設備改修工事費の内訳はどのようなものか。

答弁 25年度に実施した清水庁舎建築物性能検討業務で示された補強工事案における設備改修工事の内容は、機械設備と電気設備の改修である。

補強工事を制震補強工事で実施した場合の主な内訳は、津波による浸水被害が想定される地下の電気設備等を上層階に移設するなどの業務継続対策に係る改修工事が約6億4千万円、空調機器、照明器具などの経年劣化機器更新工事が約20億9千万円、床、壁、天井などの補強改修に伴い実施する配線、配管工事が約3億7千万円である。

新清水庁舎建設検討委員会

質問 今後設置される清水庁舎建設検討委員会では「清水駅東口公園への移転建替え」ありきの議論がされるように見えるが、どのように進めていくのか。

また、検討委員会が清水駅東口公園への建替えに問題があるとした場合、どのように対処していくのか。

答弁 検討委員会では、当局案である「清水駅東口公園への移転建替え」をベースに、今後の清水都心のまちづくりや市民サービス、災害リスクへの対応等について合理性や実効性の観点から、その優位性を検証するため比較対象を挙げて総合的に議論してもらう。

また、議論に当たっては、JCHOとの信頼関係を維持するためにも、問題とならないように進めていく。

語句説明

JCHO (ジェイコー)

桜ヶ丘病院を運営する独立行政法人地域医療機能推進機構の略称。